

ITU-R SG 5 WP 5A会合(第24回) 報告書(案)

1 WP 5A

WP 5AはIMTを除く陸上移動業務、一部の固定業務(FWA:Fixed Wireless Access)、アマチュア業務、アマチュア衛星業務を扱っている。

1.1 会合の概要

WP 5A第24回会合は、2020年11月9日から11月20日までの10日間(土曜・日曜は会議なし)、Web会議にて開催された。議長はJose Costa(カナダ)が担当し、表1のとおりWorking Partyのもとに5つのWG(Working Group)を設置し、検討が行われた。

表1 WP 5Aの審議体制

	担務内容	議長
WP 5A		Jose Costa (カナダ)
WG 1	Amateur services	Dale Hughes (オーストラリア)
WG 2	Systems and standards	Lang Baozhen (中国)
SWG 5A-2-1 (オフライン)	Railways	Shi Jin(中国)
DG5A-2-1	M.2134	Michael Mullinix (米国)
DG5A-2-2	Utilities	Brett Kilbourne (UTC)
WG 3	PPDR	Amy Sanders (米国)
WG 4	Interference and sharing	Michael Kraemer (ドイツ)
SWG5A-4-1	WRC-23 agenda item 1.3	Cesar GUTIERREZ (Huawei)
SWG5A-4-2	Range 252-296 GHz	小川 博世 (日本)
WG 5	New technologies	吉野 仁 (日本)
SWG 5A-5-1	ITS	小山 敏 (日本)
DG5A-5-1	CAV	小山 敏 (日本)
DG5A-5-2	Land Mobile Handbook	小山 敏 (日本)
DG5A-5-3	Reply liaison statements	小山 敏 (日本)
DG5A-5-4	Above 275 GHz	吉野 仁 (日本)

2 主要結果

2.1 WG 1(アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する WP 4C からのリエゾンに対して、スイス及び IARU からの寄書に基づき WP 4C でのアマチュア及びアマチュア衛星業務と RNSS の共用検討のためのアマチュア局の特性を通知する返信リエゾンを作成し、WP 4C に送付した。
- (2) WRC-23 議題 9.1 トピック b)に関する WP 5A の作業進捗を報告するリエゾン文書を作成し、WP 4C 及び WP 3M に送付した。
- (3) 前回会合からキャリアフォワードされた PDNR M.[AMATEUR_CHARACTERISTICS]に向けての作業文書はアマチュア局の特性に限定することで合意し、アマチュア局の特性については WP 4C へのリエゾンに記載した内容に置換し、RNSS の特性や干渉検討に関する記述を削除し、次回会合にキャリアフォワードした。

2.2 WG 2(システムと標準)

- (1) RSTT に関してオフラインで 3 つの文書が審議され、ITU-R 新研究課題草案[RSTT]、周波数調和に関する ITU-R 新勧告草案 M.[RSTT_FRQ]、ITU-R 報告 M.2442 改訂草案のいずれの作業文書も、次回継続審議となった。
- (2) ITU-R 勧告 M.2134 について、DG において作業文書を更新し、作業計画を添付する形で合意され、次回会合において作業を継続する。
- (3) ITU-R 新報告草案 M.[Utilities]について、DG において作業文書を更新し、各機関からの寄書を統合した報告文書に作業計画を添付する形で合意され、次回会合において作業を継続する。
- (4) ITU-T SG 15 へのリエゾン返答文書及び ITU-R WP 1A、5C、5D へのリエゾン文書が作成され、それぞれにおいて ITU-R 新報告草案 M.[Utilities]の進捗が記載された。

2.3 WG 3(PPDR)

- (1) 期間中 1 回の会合を開き、5 件の入力文書と、1 件のキャリアフォワードした文章文書を検討した。
- (2) 入力文書は、情報として確認するにとどめ、キャリアフォワード文書 5A/891 は追加寄書が無かったことから、再度キャリアフォワードすることとなった。

2.4 WG 4(干渉と共用)

- (1) 期間中 10 回の会合を開き、102 件の入力文書とキャリアフォワードされた文書を検討し、18 件の出力文書を作成した。
- (2) ITU-R 新報告草案[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]及び決議第 731 に向けた 2 つの新しい作業文書の作業及び ITU-R 勧告 M.1824 の改訂を開始した。
- (3) WP 5A が責任グループである WRC-23 議題 1.3 の準備作業を継続した。
- (4) WP 5A が貢献グループである多くの WRC-23 議題の初期議論を行い、返信リエゾン文書(議題 1.4、1.8、1.9、1.10、9.1 topic a)関連)及び回章(議題 1.5 関連)を承認するとともに、返信リエゾン文書の作成のための作業文書(議題 1.5、1.16 及び 1.17 関連)を作成した。

2.5 WG 5(新技術)

- (1) ITU-R 新報告草案 M.[CAV]に向けた作業文書の作成を継続した。
- (2) 陸上移動ハンドブック第 4 巻 ITS(Land Mobile Handbook, Vol.4 - Intelligent Transport Systems)の改訂草案が昇格され、WP 5A にて承認された。

- (3) 275-450 GHz 帯における陸上移動業務アプリケーションの技術的及び運用特性に関する ITU-R 勧告 M.2417-0 の改訂に向けた作業文書の作成を継続した。

3 プレナリ会合における主要議論

3.1 オープニングプレナリ会合

【入力文書】

Report of the twenty-third meeting of WP 5A	5A/85
Reports on related ITU and external activities of interest to WP 5A	1. Results of the Study Group 5 meeting, 31 July 2020 (Doc. 5/18(Rev.1)) 2. ITU Council & CPM-23 Steering Committee mtgs. (Add. 1 to CA/251, Doc. 5A/118)
Work programme for the meeting	5A/ADM/7、5A/ADM/8

【出力文書】

なし	
----	--

【出席者】

José COSTA 議長(カナダ)、日本代表团始め各国代表団約 200 名程度

【審議概要】

- 副議長の設置
イランより副議長設置に関する提案があり、WP 5A 議長が 5 人の WG 議長の中から 2 人の人選を検討することとした。
- 第23回WP 5A会合の報告
特段の意見は無く、前回の第 23 回 WP 5A の議長レポートである文書 5A/85 は承認された。
- 第24回WP 5A会合の目的
議長より、本会合の目的のひとつは、陸上通信ハンドブックの第 4 巻の改訂を行うことであり、クロージング・プレナリで WP 5A として最終的に承認する予定であるため、WG 5A-5 議長に必要な調整が依頼されるとともに、各参加者に対しては意見がある場合は積極的に文書の編集に参加するよう言及があった。
- WP 5Cとのアドホックグループの設立
WP 5A 議長より WP 5C で合意された WRC23 議題 topic 9.1 c)を扱うアドホックグループの設立について提案が行われたが、時間切れとなったため、アドホックグループを設立しその中で詳細を議論することとした。

3.2 クロージング・プレナリ会合

【入力文書】

なし	
----	--

【出力文書】(5A/TEMP/...)

WG 1 Amateur services	1.Reports 78 2.Documents noted(for Chairman's Report) 57R1, 58
-----------------------	---

	3. Proposals to SG 5 – 4. Draft documents for approval 55R1, 56
WG 2 Systems and standards	1. Reports 88(Att.: 81R1,84R1) 2. Documents noted(for Chairman’ s Report) 82R1,83 3. Proposals to SG 5 – 4. Draft documents for approval 79R1,80R1
WG 3 PPDR	1. Reports 85 2. Documents noted(for Chairman’ s Report) – 3. Proposals to SG 5 – 4. Draft documents for approval –
WG 4 Interference & sharing	1. Reports 92, (Att.: 63R1, 71R1, 72R1) 2. Documents noted (for Chairman’ s Report) 62R1, 66, 67R1, 68, 75 3. Proposals to SG 5 – 4. Draft documents for approval 61R1, 64R1, 65R1, 69, 70, 73R1, 74R1, 76R1, 89, 90
WG 5 New technologies	1. Reports 91R1 2. Documents noted (for Chairman’ s Report) 60R1, 77R1 3. Proposals to SG 5 – 4. Draft documents for approval 52R1, 59R3

【出席者】

議長： José COSTA (カナダ) 日本代表团始め各国代表团 約 200 名

【審議概要】

- 各WGからの出力文書について

(1)WG 1. amateur services

- TEMP 文書 5A/55R1

エディトリアルな指摘があり、語彙ガイドラインに従ってオフラインで修正する旨が言及された上で、承認された。

- TEMP 文書 5A/56

特段の議論はなく承認された。

(2) WG 2. system and standards

・TEMP 文書 5A/79,5A/80

両文書は類似しており統合すべきではないかという意見があった。議長より、時間の都合により今回の会合では文書の統合を行わないが、次回の会合にて統合を試みることにした。そのほか、特段の議論は無く承認された。

・ITU-R 勧告 M.2134

米国より保護基準の見直しと勧告文書の更新について議長報告に記載の上、SG 5にて報告してほしい旨の要望があったが、SG 5ではなくWPレベルで検討すべきではないかという意見や、入力文書として提出し、フィードバックを受けるといった適切なステップを踏むべきであるといった意見があった。結果、WP内で技術的な議論を行うことを議長報告に記すことにした。

(3) WG 3. PPDR

イランより特段議論すべき文書はなかった旨が示され、WGの継続の必要性について確認があったが、議長より必要とのコメントがあった。

(4) WG 4. Interference & sharing

・TEMP 文書 61,64,65,69,70,73,76,89,90

誤植の修正や連絡先の追記といったエディトリアルな指摘を除き、特段の議論は無く、オフラインで修正・追記の上、いずれの文書も承認された。

・TEMP 文書 74

ITU-R 勧告 M.2417 を改訂するための作業文書の作成を開始したことに触れるべきではないかという意見があり、議長にて端的に追記することとし承認された。

(5) WG 5. New technologies

・TEMP 文書 52R1: 特段の意見はなく承認された。

・TEMP 文書 59R3: 一部エディトリアルな修正が実施され、承認された

・TEMP 文書 60R1: 一部エディトリアルな修正が実施され、承認された。

・TEMP 文書 77R1: 特段の意見はなく承認された。

● 副議長の指名について

議長より2名の副議長が指名された(米国 Amy Sanders 氏とドイツ Michael Kraemer 氏)。これについてドイツより事前のアナウンスが不十分であり正式な手順に則っていないとして支持しない意見が示された。一方で、イラン、米国、UAE、ブラジル、英国より副議長候補の専門性を評価する意見や、手続の問題によって棄却する必要はないといった支持する意見が出された。

これを踏まえ、議長より事前に TEMP/86 で案を提示し、すでに大多数の国から支持する旨のフィードバックを得ていること、副議長の指名は議長に決定権があること、1年後に見直すことも可能であることに触れた上で、両名を副議長として指名し、SG 5議長に報告するとの見解が示された。

● その他

議長より次回もバーチャル会議の可能性が高いこと、効率的な会議運営について改善を試みる言及がされ、また、参加者に対し寄与文書の提出期限を厳守するよう依頼があった。

4 各WG等における審議内容

4.1 WG 1(アマチュア及びアマチュア衛星業務)

【入力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) Res. 774	85 Annex 6, 7, 10 (WP 5A), 113 (WP3M), 152 (スイス), 185 (IARU), 209 (WP 4C), 211 (WP 4C)
アマチュア衛星	127 (WP7B)
アマチュア業務の保護	なし
他の業務の保護	なし

【出力文書】

WRC-23 AI 9.1 b) Res. 774	5A/TEMP/55R1, 56 (LS) 5A/TEMP/57R1, 58 (Carry forward)
アマチュア衛星	なし
アマチュア業務の保護	なし
他の業務の保護	なし

【出席者】

議長: Mr. Dale Hughes (オーストラリア)、日本含む各国代表团

【審議概要】

- ・ WRC-23 議題9.1 トピックb)に関する文書8件、アマチュア衛星に関する文書1件の合計9件の入力文書を審議し、WRC-23 議題9.1 トピックb)に関するcarry forward文書2件とリエゾン文書2件を出力した。
- ・ アマチュア衛星に関するリエゾン文書をノートした。

4.1.1 WRC-23 議題 9.1 トピック b)の検討

【入力文書】

85 Annex 6, 7, 10 (WP 5A), 113 (WP3M), 152 (スイス), 185 (IARU), 209 (WP 4C), 211 (WP 4C)

【出力文書】

5A/TEMP/55R1, 56 (LS)
5A/TEMP/57R1, 58 (Carry forward)

【審議概要】

- ・ WP 4C からの検討状況の連絡と WP 5A への情報提供依頼のリエゾン文書 Doc. 26 に対して、スイス及び IARU からの寄書に基づき、WP 4C での検討に必要なアマチュア及びアマチュア衛星業務の局の特性情報を伝える返信リエゾンを作成した。
- ・ 上記リエゾンの内容で ITU-R 勧告 M.1732 の改訂を検討する必要があるかとの WG 1 議長の提起に対し、IARU から M.1732 は広くほかの周波数も含む勧告であり一部の情報を追加するような改訂は避けるべきとの反対があり、M.1732 の改訂は今回会合では検討しないこととした。
- ・ アマチュア及びアマチュア衛星業務のシステム及びアプリケーションの特性についての新報告案 M.[AMATEUR CHARACTERISTICS]に向けての作業文書はアマチュア局の特性に限定することで合意し、アマチュア局の特性については WP 4C

へのリエゾンに記載した内容に置換し、RNSS の特性や干渉検討に関する記述を削除し、次回会合にキャリアフォワードした。

- ・ CPM テキスト草案に向けた作業文書として、タイトルと議題の概要のみを記載した骨子案については新たな入力はなく、そのままキャリアフォワードした。

4.1.2 アマチュア衛星に関する WP 4A への返信リエゾンに関する検討

【入力文書】

127 (WP7B)

【出力文書】

なし

【審議概要】

- ・ WP7BからWP 4Aへの小型衛星ハンドブックの作成に関する返信リエゾン文書がコピーとして送られてきたものであり、情報としてノートした。

4.1.3 アマチュア業務の保護に関するリエゾン文書の検討

【入力文書】

なし

【出力文書】

なし

【審議概要】

なし

4.1.4 他の業務の保護に関するリエゾン文書の検討

【入力文書】

なし

【出力文書】

なし

【審議概要】

なし

4.2 WG 2(システムと標準)

【入力文書】

Railways (Res. 240(WRC-19))	RSTT: 70 (Motorola Solutions); 85 Annex 12 (WP 5A); 156-Res.240 (3GPP) M.2442: 85 Annex 13 (WP 5A) RSTT Frequencies: 85 Annex 11 (WP 5A)
Broadband Wireless Access	M.2134: 35 (USA); 181r1 (Russian F.); 193 (USA) M.1801: 43 (IEEE); 80 (Chairman, WP 5A); 153 (IEEE); 187 (China) Broadband for rural and remote areas: 131 (ITU-D SG 1)
Land mobile systems	Utilities: 85 Annex 14 (WP 5A); 123 (ITU-T SG 15); 173 (Canada); 189 (China); 194 (UTC América Latina); 195 (UTC América Latina)
Air to Ground	Update of Rep. ITU-R M.2282: 1065 Annex 6 (WP 5A) New Report: 1065 Annex 7 (WP 5A)
RLAN characteristics	M.1450: 844 Annex 17 (WP 5A); 44 (IEEE); 79 (Chairman, WP 5A); 154 (IEEE); 187 (China) Support WG 4 with characteristics for sharing & coexistence studies
ANT, HNT	103 (ITU-T SG 13); 104 (ITU-T SG 13); 121 (ITU-T SG 15); 122 (ITU T SG 15)

【出力文書】

Railways (Res. 240(WRC-19))	なし
Broadband Wireless Access	5A/TEMP/83 (WD M.2134); 5A/TEMP/84 (Work plan M.2134)
Land mobile systems	TEMP/79 (LS- ITU-R 1A,5C,5D); 80(LS- ITU-T SG15); 81(Workplan Utilities) 82 (Report on Utilities)
Air to Ground	なし
RLAN characteristics	なし
ANT, HNT	なし

【出席者】

議長: Mr. Lang Baozhen(中国)、各国代表団

【審議概要】

以下の Sub Working Group (SWG)と DG が設置され、SWG においては、オフラインワークが実施され、リエゾン文書及び勧告、レポート文書の作成等を行った。

2.1 Railways

- ・ SWG 5A2-1 Railway(Offline Work) 議長: Mr. SHI Jin(中国)
 - 新規寄与文書がないことから今回会合での審議は見送るべきとの意見がド

イツ、米国等からあるも、前回会合で十分に審議できなかったことから今回合合でも審議すべきとの意見がフランス(新研究課題に限定)、日本、中国等からあり、会合中はオフラインで作業が進められた。フランスとSWG議長からそれぞれ修正提案のあったITU-R新研究課題草案[RSTT]、周波数調和に関するITU-R新勧告草案M.[RSTT_FRQ]、ITU-R報告M.2442の改訂草案のいずれの作業文書も、今回合合では合意できず、前回会合でキャリアフォワードされた文書が、そのまま次回合合にキャリアフォワードされることとなった。SWG議長からはCG設立の提案があったが、新研究課題の成立による方向性明確化が先と主張する欧米勢と意見が折り合わずCGは設立されなかった。

2.2 Broadband Wireless Access

- ・ M.2134 議長: Mr. Michael Mullinax(米国)
 - DGにおいて作業文書を更新し、作業計画を添付する形で合意された。次回合合において作業を継続する。
- ・ M.1801
 - 入力文書の審議が図られたが、合意されず作業文書の進捗は行われなかった。

2.3 Land mobile systems

- ・ Utilities 議長: Mr. Brett Kilbourne(UTC)
 - DGにおいて作業文書を更新し、各機関からの寄与文書を統合した報告文書に作業計画を添付する形で合意された。次回合合において作業を継続する。
 - ITU-T SG15へのリエゾン返信文書及びITU-R WP 1A、5C、5Dへのリエゾン文書が作成され、それぞれにおいてITU-R新報告草案M.[Utilities]の進捗が記載された。

2.4 Air to Ground

- 新規の入力文書がなかったため、全ての文書を次回合合にキャリアフォワードすることとなった。

2.5 RLAN characteristics

- ・ M.1450 & M.1801
 - 前回からの寄与文書を検討したが、合意にいたることはできず、作業文書の更新は行えなかった。

2.6 ANT, HNT

- ITU-T SG 15及びITU-T SG 13から提供された情報を関連情報として領地され、それ以上の対応は行わないことで合意した。

2.7 Review of ITU-R texts

- WP 5A議長によって更新されたWP 5AテキストのAnnex 1におけるセクション1及び、移動業務に関するITU-Rテキストの使用ガイドを参照し、修正の意見はない旨で合意した。

4.2.1 RSTT に関する議論

【入力文書】

RSTT: 70 (Motorola Solutions); 85 Annex 12 (WP 5A); 156-Res.240 (3GPP)

M.2442: 85 Annex 13 (WP 5A)

RSTT Frequencies: 85 Annex 11 (WP 5A)

【出力文書】

なし。

【審議概要】

SWG 5A2-1 Railway が設置されたが、会合を通してオフラインのメール審議で作業が実施された。

- ・ 大まかな議論として、ITU-R 報告 M.2442 改訂草案を PDRR に昇格させることに合意する日本、中国、モトローラ等と、承認できない米国、英国などに分かれ、合意がなされなかった。
合意を賛成する側の意見としては、M.2442 については同報告の記載する各国の使用法についてウクライナ1国の追加にとどまるのみであり、他の 2 件の文書 ITU-R [RSTT]と ITU-R M.[RSTT_FRQ]での周波数調和議論には干渉しないとの意見であった。一方で、合意に反対する側としては、まずは ITU-R [RSTT]における新課題を設定してからであるとの意見であり、全会での承認を得られることができず、出力文書は無しの結果となった。
- ・ ITU-R 報告 M.2442 改訂草案に向けた作業文書
 - 次回会合にキャリアフォワードすることとなった。
- ・ ITU-R新研究課題議題草案[RSTT]に向けた作業文書
 - 次回会合にキャリアフォワードすることになった。
なお、オフラインディスカッションの中で中国からは、バーチャル会合で十分な審議が出来ない中、2023 年までの完了、との文言は削除すべきとの意見も出された。
- ・ ITU-R新勧告草案M.[RSTT_FRQ] に向けた作業文書
 - 次回会合にキャリアフォワードすることとなった。

4.3 WG 3(PPDR)

【入力文書】

Updates of ITU-R Reports	M.2377: 891 (WP 5D)
Liaison statements	99 (ITU-T SG 11); 150 (WP 5D); 155 (ITU-D SG 2); 172 (ITU-D SG 2); 175 (WP 5D)

【出力文書】

WG 3 Chairman's Report	5A/TEMP/ 85
------------------------	-------------

【出席者】

Amy Sanders (米・議長)、酒井原、米、加、豪、韓、中、モトローラ等最大 58 名

【審議概要】

- WG 3は、PPDR(Public Protection and Disaster Relief)について審議するWGであり、今会合中に1回開催され、キャリアフォワード文書1件を含む6件の入力文書を審議した。
- 主な議題は、M.2377の改訂の検討と、外部からの入力文書への対応である。
- M.2377については、今回も入力文書がなく、審議せずに次回会合にキャリアフォワードされた。
- ITU-T SG 11からのリエゾン文書5A/99及びWP 5DからITU-T SG 11に向けたリエゾン文書の5Aへのコピー5A/175については、情報として了知した。ITU-D SG2からのリエゾン文書5A/155、5A/172及び、WP 5DからITU-D SG 2に向けたリエゾン文書の5Aへのコピー5A/150についても情報として了知し、特段のアクションはなしとした。
- Future Workについて、数年入力文書が無いことから、次回も入力文書が無い場合、現在の議題について見直すことを合意した。

4.3.1 ITU-D Study Group 2 からの Question 5/2 関連活動報告リエゾンへの対応

【入力文書】

5A/150、5A/155、5A/172

【出力文書】

なし

【審議概要】

(ITU-D SG 2 Question 5/2): 「Utilizing telecommunications/ICTs for disaster risk reduction and management」に関する、リエゾン文書 5A/155、5A/172 及び WP 5D から ITU-D SG 2 に向けたリエゾン文書の WP 5A へのコピー 5A/150 についても情報を確認した。重要な取り組みであるので、今後も連携する方針であるが、今回 LS 等の対応は行わないこととした。

4.3.2 ITU-T SG 11 からの活動報告リエゾンへの対応

【入力文書】

5A/99、5A/175

【出力文書】

なし

【審議概要】

・「Draft New Recommendation ITU-T Q.ETN-DS Signaling architecture of the fast deployment emergency telecommunication network to be used in a natural disaster」のドラフトを添付した 5A/99 と、WP 5D から、ITU-T SG 11 に宛てたリエゾンの WP 5A へのコピー文書を確認した。前回同様の情報の共有であり、特段の対応は必要ないとの判断がされた。

・モトローラ(WP 5D PPDR 担当)より、SG 11 の担当と直接話し、次回、更新されたレポートを含めた情報入力があるだろうとのコメントがあった。

4.3.3 ITU-R ドキュメントの更新への対応

【入力文書】

5A/891

【出力文書】

なし

【審議概要】

・5A/891 として、WP 5D から、改訂案が届いているが、以降、寄与文書がなく、更新自体が滞っており、今回も、審議なくキャリアフォワードされることが、議長から提案され、確認された。

・モトローラ(WP 5D PPDR 担当)より、WP 5D にて、M.2733 とも関連する M.2019 の改訂作業が、3GPP の規格更新と合わせて行われており、次回、5D から LS が提供される予定であることがコメントされた。

4.4 WG 4(干渉と共用)

【入力文書】

Document copied to WP 5A for information	5A/91 (WP 5C); 5A/92 (WP 5C); 5A/94 (WP 5C); 5A/95 (WP 5C); 5A/96 (WP 5C); 5A/97 (WP 5C); 5A/98 (WP 5C); 5A/120 (WP 7D); 5A/100 (WP 5C); 5A/101 (WP 5C); 5A/102 (WP 5C); 5A/106 (WPs 3K & 3M); 5A/107 (WP 5B); 5A/108 (WPs 3K & 3M); 5A/111 (WP 3L); 5A/112 (WPs 3J, 3K, & 3M); 5A/114 (WP 3M); 5A/115 (WPs 3K & 3M); 5A/117 (WP 3M); 5A/124 (WP 7B); 5A/126 (WP 7B); 5A/128 (WP 7B); 5A/132R1 (WP 7C); 5A/135 (WP 7C); 5A/139 (WP 7C); 5A/140 (WP 7C); 5A/141 (ICAO); 5A/145 (WP 6A); 5A/146 (WP 6A); 5A/147 (WP 6A); 5A/148 (WP 5D); 5A/160 (TG 6/1); 5A/210 (WP 4C).
Software implementation of Recommendation ITU-R P.368-9	5A/110 (WP 3L)
Preliminary draft IMO position on WRC-23 agenda item 1.3	5A/144 (IMO)
3GPP's activities related to WRC-19 Resolutions	5A/156 (3GPP)
Proposed liaison statement to contributing groups for WRC-23 agenda	5A/87 (Guinea)
Range 92-109.5 GHz	5A/119 (WP 7D); 5A/137 (WP 7C)
Sharing by zones	-
RLAN documents from WRC-19 agenda item 1.16	-
WRC-19 agenda item 1.3	5A/74 (ESOA); 5A/88 (WP 5B); 5A/116 (WPs 3K & 3M); 5A/118 (Chairman, CPM-23); 5A/171 (WP 5D); 5A/188, 5A/190, 5A/192 (China); 5A/203, 5A/204 (Ericsson, Huawei, Intel, Nokia, Samsung); 5A/205 (UK); 5A/206 (UAE)
Range 252-296 GHz	5A/164 (Japan); 5A/165 (Japan); 5A/166 (Japan); 5A/167 (Japan)
Non-ionizing radiation	5A/151 (ITU-D SG 2)
Revision of Recommendation ITU-R M.1824 (ENG)	5A/162 (Japan)
Protection of radio services	5A/1078 (WP 1A)
IMT	5A/47 (France)
Technical and operational characteristics for WRC-23 related studies	5A/157 (Iran)
WRC-23 Agenda Item 1.2	5A/15 (WP 5D); 5A/206 (UAE)

WRC-23 Agenda Item 1.4	5A/14 (WP 5D); 5A/149 (WP 5D)
WRC-23 Agenda Item 1.5	5A/158 (TG 6-1); 5A/159 (TG 6-1); 5A/161 (WP 6A); 5A/170 (WP 5D); 5A/176 (UK); 5A/179 (BBC); 5A/186 (France); 5A/197 (Thales); 5A/199, 5A/200, 5A/201 (Germany); 5A/202 (Motorola)
WRC-23 Agenda Item 1.8	5A/105 (WP 5B); 5A/182 (USA)
Resolution 731 (Rev.WRC-19)	5A/136 (WP 7C); 169 (Canada)
WRC-23 Agenda Item 1.9	5A/90 (WP 5B)
WRC-23 Agenda Item 1.10	5A/89 (WP 5B)
WRC-23 Agenda Item 1.13	5A/125 (WP 7B)
WRC-23 Agenda Item 1.14	5A/138 (WP 7C)
WRC-23 agenda item 1.15	5A/216 (WP 4A)
WRC-23 agenda items 1.16 and 1.17	5A/31; 5A/32 (WP 4A); 5A/193 (USA); 5A/215; 5A/217 (WP 4A)
WRC-23 Agenda Item 1.18	5A/29 (WP 4C)
WRC-23 Agenda Item 1.19	5A/30; 5A/214 (WP 4A)
WRC-23 agenda item 9.1, topic a)	5A/134 (WP 7C)
WRC-23 agenda item 9.1, topic d)	5A/133 (WP 7C)

【出力文書】

WRC-23 Agenda Item 1.3	5A/TEMP/66 (Draft CPM text); 5A/TEMP/67(Rev.1) (Workplan)
Range 252-296 GHz	5A/TEMP/62(Rev.1) (Working doc); 5A/TEMP/63(Rev.1) (Elements for an LS to 5C); 5A/TEMP/64(Rev.1) (LS to EOs); 5A/TEMP/65(Rev.1) (LS to 3J, 3K and 3M)
Revision of Recommendation ITU-R M.1824 (ENG)	5A/TEMP/68 (Working doc)
Protection of radio services	5A/TEMP/76(Rev.1) (LS to 1A)
WRC-23 agenda item 1.4	5A/TEMP/61(Rev.1) (LS to 5D)
WRC-23 Agenda Item 1.5	5A/TEMP/72(Rev.1) (Elements for an LS to TG 6/1); 5A/TEMP/89 (Text for a Circular Letter)
WRC-23 Agenda Item 1.8	5A/TEMP/73(Rev.1) (LS to 5B)
Resolution 731 (Rev.WRC-19)	5A/TEMP/74(Rev.1) (LS to 7C); 5A/TEMP/75 (Working doc)
WRC-23 Agenda Item 1.9	5A/TEMP/69 (LS to 5B)
WRC-23 Agenda Item 1.10	5A/TEMP/70 (LS to 5B)
WRC-23 agenda items 1.16 and 1.17	5A/TEMP/71 (Elements for an LS to 4A)
WRC-23 agenda item 9.1, topic a)	5A/TEMP/90 (LS to 7C)

【出席者】

議長 Michael Kraemer 氏(ドイツ)

日本、米国、カナダ、英国、ロシア、中国、フランス、ドイツ、イラン、UAE 等 約 150 名

【審議概要】

本会合期間中に 10 回の会合を開き、102 件の入力文書とキャリアフォワードされた文書を検討し、18 件の出力文書を作成した。

ITU-R 新報告草案[252-296 GHz.LMS.FS.COEXIST]及び決議第 731 に向けた 2 つの新しい作業文書の作業を開始し、ITU-R 勧告 M.1824 の改訂を開始した。

また、WP 5A が責任グループとなる WRC-23 議題 1.3 の準備作業を継続するとともに、WP 5A が貢献グループである多くの WRC-23 議題の初期議論を行い、返信リエゾン文書(議題 1.4、1.8、1.9、1.10、9.1 topic a)関連)及び回章(議題 1.5 関連)を承認するとともに、返信リエゾン文書の作成のための作業文書(議題 1.5、1.16 及び 1.17 関連)を作成した。

次回の会合にキャリアフォワードすることとなった文書は以下のとおり。

- Range 92-109.5 GHz: 5A/85 Annex 15, 5A/137
- Sharing by zones: 5A/976 Annex 14
- RLAN sharing: 5A/1065 Annex 9, Annex 10, Annex 11, Annex 12, 5A/976 Annex 17
- IMT: 5A/47
- WRC-23 agenda item 1.3: 5A/74, 5A/88, 5A/190, 5A/192, 5A/203, 5A/204
- WRC-23 agenda item 1.5: 5A/176, 5A/179, 5A/199, 5A/200, 5A/201, 5A/186, 5A/197, 5A/202
- WRC-23 agenda item 1.18: 5A/29
- WRC-23 agenda item 1.19: 5A/30, 5A/214
- WRC-23 agenda items 1.2 and 1.3: 5A/15, 5A/206

【審議経過】

WRC-23議題1.3について(SWG)

- 本トピックを扱うため、Cesar GUTIÉRREZ氏を議長とするSWGを設置した。SWGでは、入力文書を議論するとともに、CPMテキストの草案と作業計画を更新し、文書5A/74 (ESOA)、5A/88 (WP 5B) 5A/190、5A/192 (中国)、5A/203、5A/204 (複数企業)を次回のWP 5A会合にキャリアフォワードすることとし、更なる検討を行うことを決定した。
- 議論の中で、CPMテキスト案の背景の部分は、トピックの事実に基づいた簡潔な説明を行うべきであり、宣伝的な内容を含むべきではないとの指摘があった。また、現在の作業の焦点は、共用検討に必要なパラメータ値を収集することであることが確認された。
- WP 5Dから共用検討のパラメータ値や共同研究作業についての情報が共有され、次回の WP 5A会合では、このテーマを進めるために、議長報告において、情報提供を推奨することとした。
- 研究の範囲や、WRC-23議題1.2と類似する点があるため、作業が重複するのではないかといった議論があったが、共用検討のパラメータ値が入手可能になり、研究の作業が開始された後、次回の会合で議論することとした。

252-296 GHzについて(SWG)

- 本トピックを扱うために、小川氏を議長とするSWGを設置した。SWGはこのトピックに関する作業を開始し、作業文書の第1版を作成し、2つのリエゾン文書を作成した。

ITU-R勧告M.1824(ENG)の改訂について

- 入力文書5A/162について日本より説明を行った。ドイツより、本文書は異なる議題項目にあるシステムの特性や保護基準に関するリクエストに関連するものなのか、単に情報の更新を行ったものなのかを確認する質問があり、日本より後者である旨が回答された。また、米国より、決議第59(Rev.WRC-19)で求められているENGデータベースの現在の状況と、管理者がどのようにして、当該データベースに情報を提出できるかについて事務局に相談すべきであるとの意見があった。これを踏まえ、WG 4議長より、初期バージョンの改訂文書を作成し議長レポートに添付する形でキャリアフォワードすることやデータベースへの情報提供を別の活動として行うことを検討することが提案され、承認された。

WRC-23議題1.2について

- WRC-23議題1.2と議題1.3の下で行われている研究が重複するのではないかとの意見があり、議論が行われた。その結果、現在の作業の焦点は、共用検討のパラメータ値の研究であり、まだ当該研究の準備が整っていないため、現状ではWP 5Dへリエゾン文書を送付せず、5A/15と5A/206を次回の会合にキャリアフォワードし、検討することとなった。
- 5A/15の要求に対して、どのようなパラメータ値をWP 5Dに送るかについては、WP 5Aが次回の会合で決定する必要があることが強調され、この問題に関する意見の提出が奨励された。

WRC-23議題1.5について

- TG 6/1が、入力文書5A/158と5A/159で要請している情報に留意し、次回の会合でこれらの要請への回答を確定する必要があることが確認された。TG 6/1への返信リエゾン文書を作成するにあたり、必要な要素を開発することとし、それに対応する入力文書5A/176、5A/199をキャリアフォワードされることが決定された。
- 5A/179、5A/200、5A/201に記載されている、陸上移動業務の様々な用途での周波数使用とニーズに関する情報は次回の会合で検討されることになり、これらの資料は次回の会合にキャリアフォワードされた。
- 5A/186、5A/197、5A/202の質問票の提案については、このような質問票が必要かどうか、役に立つかどうかについて意見が分かれたため、質問票を発行せず、次回のWP 5A会合で参加者からの意見を奨励する短い回章を発行することが決定された。なお、質問の統合版は、希望する代表者が検討できるようにSharePointに置かれた。
- 次回の会合では、WP 5Aが担当する陸上移動業務の共用検討に必要なパラメータ値と周波数利用、及び様々なアプリケーションの必要性に関するTG 6/1への回答を完了させる必要があるため、このトピックに関する情報提供が強く推奨された。

4.5 WG 5(新技術)

【入力文書】5A/...

ITS	General: 143 (AWG); 156-Rec.208 (3GPP) CAV(Question ITU-R 261/5): 85 Annex 16 (WP 5A); 129 (3GPP TSG RAN); 130 (ETSI ISG MEC); 142 (ETSI ERM TGSRR); 168 (Japan); 184 (USA); 191 (China); 196 (5GAA); 208 (C2C-CC) Handbook Sgare Folder (WP 5A); 163 (Japan); 174 (Korea); 183 (USA)
Above 275 GHz (Q.256/5, Res.731) M.2417	85 Annex 17 (WP 5A); 93 (WP 5C); 180 (Russian)

【出力文書】5A/TEMP/...

ITS	CAV(Question ITU-R 261/5): 77 Rev.1 Reply LS to ITU-T FG-VM 52Rev.1 Handbook: 59 Rev. 3
Above 275 GHz (Q.256/5, Res.731) M.2417	60 Rev. 1
MEETING REPORT OF WORKING GROUP 5A-5	91

【出席者】

議長 吉野仁 氏(日本)、米国、カナダ、英国、ロシア、中国、韓国等

最大約 100 名

【審議概要】

- ・ 本WGは今会合中に5回開催され、17件の寄与文書を審議し、5件の出力文書を作成した。
- ・ 以下のSub Working GroupとDrafting Group (DG)が設けられた。いずれも議論への参加希望者間で電子メールにて詳細な議論が実施された。

- 1. SWG for CAV: 小山敏 氏(日本)

General、CAV関連の入力文書について審議を実施した。

1089(ITU-T FG VM)及び5 (ITU-T FG VM)については、本会合にて返信リエゾン文書を送付することとした。

CAV関連では、全ての入力文書の内容をコメント及び編集者注として反映し、今後の会合にて体裁を整えていくこととされた。現在はCAVに関連する情報を収集している段階であるため、今後の会合においても作業文書として検討していくこととされた。

電子メールでのオフラインディスカッションを経て、第5回会合にて以下のTEMP文書が承認された。

- ・ 5A/TEMP/77 Rev.1 (Working document towards a PDN Report ITU-R

M.[CAV])

- ・.5A/TEMP/52Rev.1(Reply Liaison Statement to ITU-T Focus Group on Vehicular Multimedia (FG-VM))

- 2. DG for Land Mobile Handbook Vol.4 ITS: Mr. Hyun Seo Oh (韓国)
163 (日本); 174 (韓国); 183 (米国)について審議を実施した。SWGでのエディトリアルな修正及び電子メールでのオフラインディスカッションを経て、第5回会合にて、以下のTEMP文書が承認され、改訂草案の昇格が行われた。

- ・.5A/TEMP/59Rev.3 (New Edition of Volume 4 of the Land Mobile Handbook)

- 3. DG for Above 275 GHz (Revision of M.2417-0): 吉野仁氏 (日本)
85 Annex 17 (WP 5A); 93 (WP 5C); 180 (ロシア)について審議を実施した。作業計画については、必要があれば2021年5月の会合にて他のWPへのリエゾン文書を作成することとされた。会合でのエディトリアルな修正及び電子メールでのオフラインディスカッションの結果、以下のTEMP文書が承認され、次回会合にキャリアフォワードされた。

- ・.5A/TEMP/60Rev.1 (Working Document towards a Preliminary Draft Revision of Report ITU-R M.2417-0)

WP 5A テキストの修正

- ・Section 1 of Annex 1 to Doc. 5A/85

- ・Guide to the use of ITU-R texts relating to the land mobile serviceの確認を行った。会場からコメントはなく既存の修正のまま承認された。

5 今後の予定

WP 5A の次回会合の各 WG の主な審議事項は以下のとおり。

5.1 WG 1(アマチュア及びアマチュア衛星業務)

- (1) WRC-23 議題 9.1 トピック b)の ITU-R 新報告草案 M.[AMATEUR CHARACTERISTICS] に向けた作業文書の作成作業を継続すること。
- (2) WRC-23 議題 9.1 トピック b)の CPM テキスト草案に向けた作業文書の作成作業を行うこと。
- (3) WG 5A-1 の作業計画を更新すること。

5.2 WG 2(システムと標準)

- (1) ITU-R 新研究課題草案[RSTT]や ITU-R 新勧告草案 M.[RSTT_FRQ]、ITU-R 報告 M.2442 改訂草案について、それぞれの作業文書の更新を実施すること。
- (2) ITU-R 新報告草案 M.[A2G]についての作業文書の更新を実施すること。
- (3) ITU-R 報告 M.2282 改訂草案についての作業文書の更新を実施すること。
- (4) ITU-R 新報告草案 M.[Utilities]の作業文書の更新を実施すること。
- (5) 寄与文書を基に、WAS 課題研究作業を継続すること。

5.3 WG 3(PPDR)

- (1) 引き続き決議第 646(WRC-15、改)と連携した勧告・報告の改訂作業を行う。(WP 5D から入力があったが、その後の入力がなく、改訂停止中の ITU-R 報告 M.2377 への対応を含む)
- (2) PPDR に関する情報の収集と発信を継続する。

5.4 WG 4(干渉と共用)

- (1) 入力がなかった作業文書(WRC-19 の議題 1.16 の RLAN 文書、レンジ 92-109.5 GHz、ゾーン別共有等)をどのように進めるか検討する。
- (2) 現在 WG 4 で開発中の様々な作業文書の作業を継続する。
- (3) 責任グループとして、WRC-23 議題 1.3 の準備作業を継続する。
- (4) 貢献グループとして、WP 5A が他の作業部会から要請を受けている WRC-23 の様々な議題について、システムパラメータや周波数の必要性に関する情報を提供する方法について検討する。

5.5 WG 5(新技術)

- (1) CAV(Connected Automated Vehicles)に関する ITU-R 新報告草案 M.[CAV]の作業文書の作成を継続すること。
- (2) 275-450 GHz 帯における陸上移動業務の技術・運用特性に関する ITU-R 報告 M.2417-0 の改訂に関する作業を継続すること。

6 次回会合のスケジュール

次回(第 25 回)WP 5A 会合は、2021 年 4 月 28 日～5 月 11 日、Web 会議にて開催される予定。

表 2 日本入力文書の審議結果

担当WG	文書番号	概要	審議結果	出力文書
WG 1	なし	-	-	-
WG 2	なし	-	-	-
WG 4	5A/162	2017 年以降に国内で標準化されたマイクロ波(6/7 GHz 帯)及びミリ波(42 GHz 帯)のUHDTV 伝送用 FPU のシステムパラメータを追加する勧告改訂を提案する。	次回会合へキャリーフォワードされ、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP /68 (Work plan)
WG 4	5A/164	作業計画に則って、252-296 GHzで運用するLMS/FSアプリケーション間の共存に関するレポート草案に向けた作業文書を提案する。レポートの構成は、252-296 GHz 帯のLMS/FSアプリケーションの技術運用特性、干渉シナリオ及びその計算結果から構成される。Annex 1とAnnex 2には、ITU-R勧告P.2109 (BEL)とP.2108 (Clutter loss) の252-296 GHzに外挿した値を示す。	次回会合へキャリーフォワードすることとした。	5A/TEMP /62 (Rev.1) (Working doc);
WG 4	5A/165	本会合で日本が提案する252-296 GHzで運用するLMS/FSアプリケーション間の共存に関するレポート草案に向けた作業文書に関する内容における、252-296 GHz帯のFSアプリケーションの技術運用特性として、ITU-R報告F.2416の技術運用特性を、保護基準としてITU-R勧告F.758-7の値を適用することが可能かどうかを問い合わせるリエゾン文書。	次回会合へキャリーフォワードされ、議長報告に添付することとした。	5A/TEMP /63 (Rev.1) (Elements for an LS to 5C);
WG 4	5A/166	本会合で日本が提案する252-296GHzで運用するLMS/FSアプリケーション間の共存に関するレポート草案に向けた作業文書に関する内容について、作業文書のAnnex 1とAnnex 2に示したITU-R勧告P.2109 (BEL)とP.2108 (Clutter loss) の外挿した値が、252-296 GHzに適用可能であるかどうかを問い合わせるリエゾン文書。	リエゾン文書を送付することとした。	5A/TEMP /65 (Rev.1) (LS to 3J, 3K and 3M)
WG 4	5A/167	本会合で日本が提案する252-296 GHzで運用するLMS/FSアプリケーション間の共存に関するレポート草案に向けた作業文書に関する内容における252-296 GHz帯のLMS/FSアプリケーションの技術運用特性に関する最新情報をITU-Rに入力するように要請するリエゾン文書。	リエゾン文書を送付することとした。	5A/TEMP /64 (Rev.1) (LS to EOs)

WG 5	5A/163	日本で実用化されているITS無線通信システムに関する規格や仕様が正しくドラフトに反映されるように、最終のテキスト修正案を入力し、11月会合をもって編集作業の終了とすることを提案する。	WP 5Aプレナリにおいて承認された。	5A/TEMP /59 (Rev.3)
WG 5	5A/168	日本が世界をリードしているトラックの隊列走行について、CAV通信一般の視点に立って、ユースケースと無線要求条件の一例を提案する。	作業文書に反映され、次回会合へキャリーフォワードされることになった。議長報告に添付された。	5A/TEMP /77 (Rev.1) (Working doc)

表 3 WP 5A 出力文書

文書番号 (5A/TEMP/)	担当 WG	題 目	処理
55 R1	WG 1	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 4C (COPY TO WORKING PARTY 3M FOR INFORMATION) Information for studies on WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WP 5Aプレナリ にて承認
56	WG 1	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTIES 4CAND 3M) Update on work towards WRC-23 agenda item 9.1, topic b)	WP 5Aプレナリ にて承認
57 R1	WG 1	ELEMENTS OF A WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R M.[AMATEUR.CHARACTERISTICS]	WP 5A議長報 告に添付
58	WG 1	DRAFT WORKPLAN/REPORT FOR WRC-23 AGENDA ITEM 9.1, TOPIC B)	WP 5A議長報 告に添付
78	WG 1	Elements of Working Party 5A Chairman's Report	WP 5A議長報 告に添付
79 R1	WG 2	Draft liaison statement to ITU-R Working Parties 1A, 5C, 5D – Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[Utilities] on Utility Communications Systems	WP 5Aプレナリ にて承認
80 R1	WG 2	Draft reply liaison statement to ITU-T Study Group 15 – Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[UTILITIES] on Utility Communications Systems	WP 5Aプレナリ にて承認
81 R1	WG 2	Workplan for working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[UTILITIES] on utility communication systems	継続審議
82 R1	WG 2	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[UCS] – Utility Communication Systems	継続審議
83	WG 2	Working document towards preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.2134-0 – [Receiver / Technical and operational] characteristics and protection criteria for systems in the mobile service in the frequency range 27.5–29.5 GHz for use in sharing and compatibility studies	継続審議

84 R1	WG 2	Workplan for the revision of Recommendation ITU-R M.2134 - [Receiver / Technical and operational] characteristics and protection criteria for systems in the mobile service in the frequency range 27.5-29.5 GHz for use in sharing and compatibility studies	継続審議
88	WG 2	Report on activities of Working Group 2 - Systems and Standards - Annex 3 to Working Party 5A Chairman' Report	WP 5A議長報告に添付
85	WG 3	Report of Working Group 3	WP 5A議長報告に添付
61 R1	WG 4	[Draft] reply liaison statement to Working Party 5D - Initial information for studies on WRC-23 agenda item 1.4	WP 5Aプレナリにて承認
62 R1	WG 4	Elements for a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST] - Coexistence between land-mobile and fixed service applications operating in the frequency range 252-296 GHz	WP 5A議長報告に添付
63 R1	WG 4	Elements for a draft liaison statement to Working Party 5C (copied to Working Party 7C for information) - Elements for a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]	WP 5A議長報告に添付
64 R1	WG 4	[Draft] liaison statement to external organizations - Elements for a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]	WP 5Aプレナリにて承認
65 R1	WG 4	[Draft] liaison statement to Working Parties 3J, 3K and 3M - Elements for a working document towards a preliminary draft new Report ITU-R M.[252-296 GHZ.LMS.FS.COEXIST]	WP 5Aプレナリにて承認
66	WG 4	Working document towards preliminary draft CPM text for WRC-23 agenda item 1.3	WP 5A議長報告に添付
67 R1	WG 4	Workplan/Report for WRC-23 agenda item 1.3	WP 5A議長報告に添付
68	WG 4	Working document towards a preliminary draft revision of Recommendation ITU-R M.1824-1 - System characteristics of television outside broadcast, electronic news gathering and electronic field production in the mobile service for use in sharing studies	WP 5A議長報告に添付

69	WG 4	[Draft] reply liaison statement to Working Party 5B – Initial information for studies on WRC-23 agenda item 1.9	WP 5Aプレナリにて承認
70	WG 4	[Draft] reply liaison statement to Working Party 5B – Initial information for studies on WRC-23 agenda item 1.10	WP 5Aプレナリにて承認
71 R1	WG 4	Elements for a draft liaison statement to Working Party 4A – Mobile Service technical and operational characteristics and protection criteria for use in sharing studies under WRC-23 agenda items 1.16 and 1.17	WP 5A議長報告に添付
72 R2	WG 4	Elements for a draft liaison statement to Task Group 6/1 (copy to Working Parties 5B, 5C, 5D, 6A and 7D for information) – WRC-23 agenda item 1.5	WP 5A議長報告に添付
73 R1	WG 4	[Draft] reply liaison statement to Working Party 5B – Technical and operational characteristics and protection of the Land Mobile Service	WP 5Aプレナリにて承認
74 R1	WG 4	Draft liaison statement to Working Party 7C (copy to Working Parties 1A, 3J, 3K, 3M, and 5C for information) – Mitigation techniques and specific conditions to be applied to the land-mobile service applications in the frequency bands 296–306 GHz, 313–318 GHz and 333–356 GHz, to ensure the protection of Earth exploration-satellite service (passive) applications in accordance with R	WP 5Aプレナリにて承認
75	WG 4	Preliminary draft new Report ITU-R M.[LMS.CONDITIONS>275GHZ] – Assessment of mitigation techniques and specific conditions to be applied to the land mobile service applications in the frequency bands 296–306 GHz, 313–318 GHz and 333–356 GHz, to ensure the protection of earth exploration-satellite service (passive) applications in accordance with RR No. 5.564A	WP 5A議長報告に添付
76 R1	WG 4	Reply liaison statement to Working Party 1A [(copy to Working Parties 4A, 4B, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7A, 7B, and 7C for information)] – Liaison between ITU-R and CISPR on the protection of radio services in the 6–40 GHz frequency range	WP 5Aプレナリにて承認
89	WG 4	Draft text for a circular letter from the BR – Spectrum use and spectrum needs non-IMT applications/systems of the land mobile service within the frequency band 470–960 MHz in Region 1	WP 5Aプレナリにて承認

90	WG 4	[Draft] reply liaison statement to Working Party 7C – Initial information for studies on WRC-23 agenda item 9.1, topic a)	WP 5Aプレナリにて承認
92	WG 4	Report of the Working Group 5A-4 activities (Interference and sharing)	WP 5A議長報告に添付
77 R1	WG 5	Working document towards a PDN Report ITU-R M.[CAV]- Connected Automated Vehicles (CAV) – Question ITU-R 261/5	WP 5A議長報告に添付
52 R1	WG 5	Reply Liaison Statement to ITU-T Focus Group on Vehicular Multimedia (FG-VM)	リエゾン文書を送付
59 R2	WG 5	New Edition of Volume 4 of the Land Mobile Handbook	WP 5Aプレナリにて承認
60	WG 5	Working Document towards a Preliminary Draft Revision of Report ITU-R M.2417-0	WP 5A議長報告に添付
91	WG 5	Report of the Working Group 5A-5 activities (ITS)	WP 5A議長報告に添付
53	WP 5A	Annex XX to Working Party 5A Chairman's Report – Elements towards a working document towards a preliminary draft new [Report/Recommendation] ITU-R F.[IMT-FWB] – Use of International Mobile Telecommunication system for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed service on a primary basis	WP 5A議長報告に添付
54	WP 5A	Annex XX to Working Party 5A Chairman's Report – Work plan/report for WRC-23 agenda item 9.1, topic c) – Study the use of International Mobile Telecommunication systems for fixed wireless broadband in the frequency bands allocated to the fixed service on a primary basis, in accordance with Resolution 175 (WRC-19)	WP 5A議長報告に添付
86	WP 5A 議長	Working Party 5A Management	WP 5A議長報告に添付
87 Rev.1	WP 5A 議長	List of Annexes for the Chairman's Report of the twenty-fourth meeting of Working Party 5A (Document 5A/221)	WP 5A議長報告に添付

ITU-R SG 5 WP 5A 第 24 回会合 日本代表団

(順不同;敬称略)

	氏名	所属
団長	稲葉 亮	総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課 新世代移動通信システム推進室
	熊原 涉	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	内田 寛武	総務省 総合通信基盤局 電波部 基幹・衛星移動通信課 基幹通信室
	小川 博世	(国研)情報通信研究機構
	小山 敏	(一社)電波産業会
	山本 勝美	(一社)日本アマチュア無線連盟
	中村 一城	(公財)鉄道総合技術研究所
	伊藤 史人	日本放送協会
	加藤 辰典	日本放送協会
	齋藤 進	日本放送協会
	横畑 和典	日本放送協会
	岩谷 純一	日本電信電話(株)
	大槻 信也	日本電信電話(株)
	新 博行	(株)NTTドコモ
	吉野 仁	ソフトバンク(株)
	酒井原 邦彦	パナソニック(株)コネクティッドソリューションズ社
	川本 真紀夫	三菱電機(株)
	山崎 高日子	三菱電機(株)
	三留 隆宏	スカパーJSAT(株)
	粕谷 友里恵	(株)NTT データ経営研究所
	北野 剛大	(株)NTT データ経営研究所
	松末 竜	(株)NTT データ経営研究所
	守屋 牧人	(株)NTT データ経営研究所